

製本セミナー & 実演

印画紙製本の方法

特許製法アルバム製本を解説します

(株) フォーラム

フォーラム式製本のメリット

■ 高価な機械不要

大きな機械が不要だから、場所をとらない。製本しないときにはどこへでも片付けられます。

■ 熟練不要

1日でマスターできます

■ 1人でできる

忙しいときには二人、三人で生産性アップ

■ 短時間でできる

20Pの製本なら15分で完成します(断裁前まで)

作業の手順

- ①写真をそろえる(製本の準備)
- ②写真を折る
- ③写真の間に中台紙を入れる
- ④バイスにセットしクリップで固定する
- ⑤中台紙と写真を糊付けする～背側
- ⑥中台紙と写真を糊付けする～小口側
- ⑦断裁
- ⑧花布(はなぎれ)、寒冷紗(かんれいしゃ)を付ける

用意する物

- バイス
- クリップ
- ハンドゴムローラー
- プリント筋押し機
- 断裁機
- その他
 - カッター
 - カッターマット
 - 定規
 - 糊はがし液

① 製本の準備

後の作業を楽にする原稿の作り方

整理番号やお客様番号、ページ番号、製本に必要なトンボなどを入れてプリントをすることで、ミスを防ぎ、スムーズな作業をすることができます。

センタートンボ(折り線の目印)と四隅の仕上がり・断ちトンボを必ず入れましょう。

各ページにそれぞれページ番号を、「段印(だんじるし)」式に入れると、確認作業が楽になります。

ページ番号を入れた「段印」だんじるし⇒

物件No.

0.1 2.3 4.5 6.7 8.9 10.11 12.13 14.15 16.17 18.19 20.21

↑折りトンボ

↑仕上がり、断ちトンボ

センタートンボ←

OVUM

段印があると、印が階段状に並ぶので乱丁、落丁などの発生



② 写真を折る

- I. 写真の裏側から、写真のセンタートンボに合わせて折り筋を付けていきます。
- II. 折り筋に沿って、一度、反対方向（絵柄を山折りにする）に折ります。
- III. これをもう一度逆に（絵柄を谷折りにする）折り返します
- IV. 専用の筋押し機を使って筋押しもできます。



CHINA
中國

③ 写真の間に中台紙を入れる

- I. 写真と写真の間に「中台紙」を入れます
- II. 初めと最後(本の外側になる部分)にも「中台紙」を置きます
- III. 「中台紙」を入れ終わったら、上から圧力をかけて、しっかりと写真を折ります
- IV. 中台紙を挟む前に圧力をかけてもプリントが滑って折り部分を押さえることができません

③ 写真の間に中台紙を入れる



④ バイスにセットし、クリップで固定

- I. ③でセットした写真と中台紙の背と左右をそろえ、バイスにセットします
- II. セット後にもう一度、下(アルバムの背になる部分)と左右を揃え、バイスを軽く締めて写真を固定します。
- III. 上部をクリップで固定(3カ所)します。
- IV. クリップで固定した後、バイスから本をはずします。

④ バイスにセットし、クリップで固定



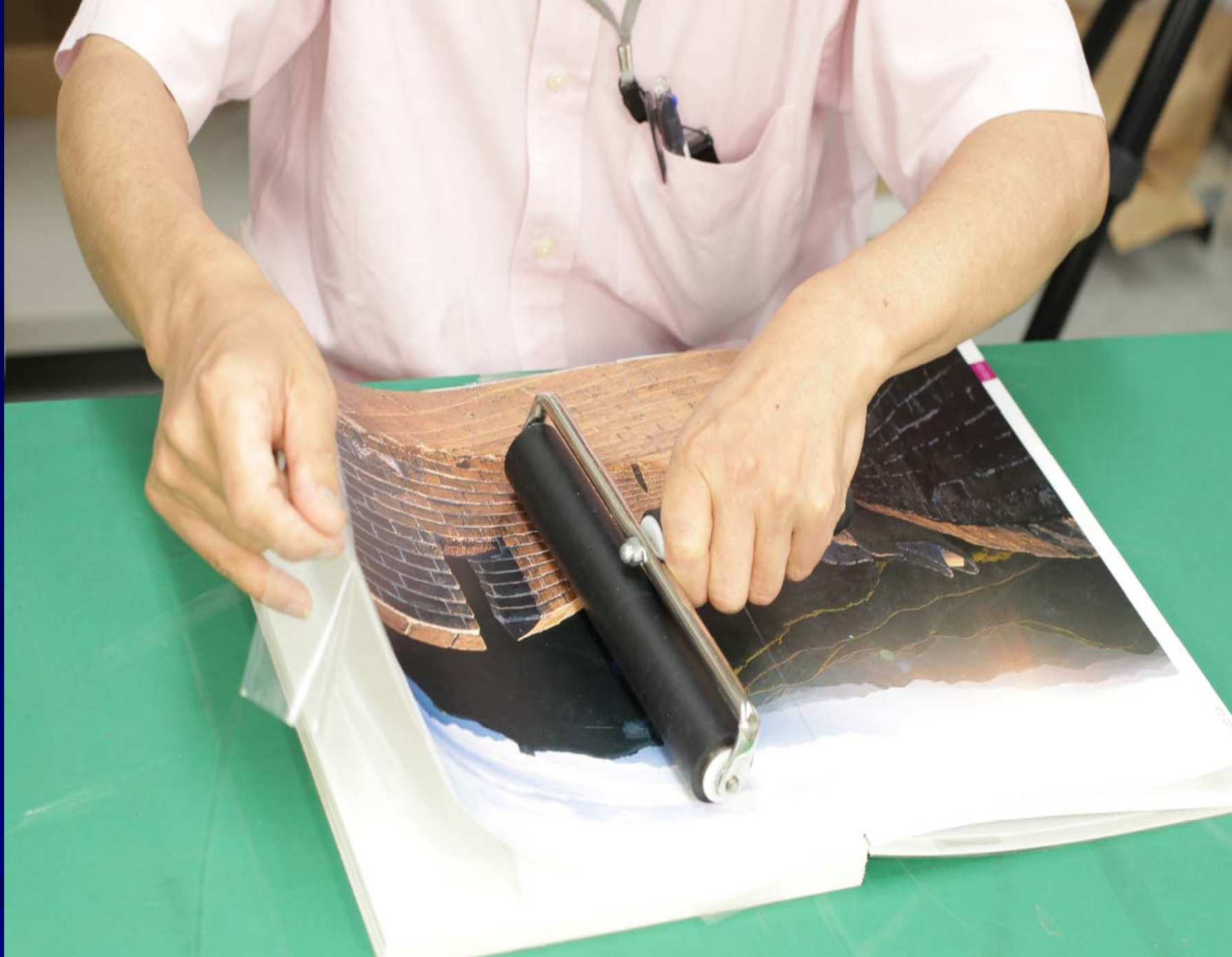
⑤ 中台紙と写真を糊付けする～その1 まず本の背側だけを糊付けする

- I. 写真を机に水平に置き、クリップが邪魔にならないように、写真の下に30mmくらいの台を入れます
- II. 背側から中台紙の剥離紙を1/4から1/3めくって、写真と接着していきます
- III. 必ず上になっている中台紙側から接着していきます、終わったら本をひっくり返して反対側の中台紙と写真を接着していきます
- IV. これで本の背側だけがすべてつながった状態になります



⑤ 中台紙と写真を接着する～その2 糊付けされていない中台紙と写真を糊付けする

- I. ④の写真からクリップを外します(外しても背側が接着されているので本の状態になっている)
- II. 糊付けされていない小口側(本の開く側)を付けていきます
- III. 本を最初のページから開いていき、残った剥離紙を引き抜きながら、ハンドローラーで上から軽く押さえていきます
- IV. 最初は片側のページだけをiiiの要領で糊付けし、終わったら逆側のページを同じように糊付けします



⑤ 中台紙と写真を接着する～その2

ここに注意

- ハンドローラーで上から軽く押さえるようにして、剥離紙を引き抜きながら、背から小口側に接着していきます
- 写真の裏側にゴミや糊カスが付着していると、写真の表面に膨らみとして出てくることがあります。
- 糊付けするときに、写真の裏側を、手で触りながら作業して、ゴミや糊カスがないか、確認しましょう
- 本の下に台を置かないと、全体が反ってしまい、背が直角になりません。



本の糊付けが完成しました

⑦ 断裁

- i. 始めに、小口側を仕上がりよりも5mm程度大きく断裁します
- ii. 次に、上下どちらかを、仕上りトンボに沿って断裁します
- iii. 反対側を仕上がりサイズに断裁します
- iv. 最後に小口を仕上がりサイズに断裁します。

★小さな断裁機の場合は3mmくらい大きく切ってから、2度目に仕上がりサイズに切ると、きれいに断裁できます。

⑧花布、寒冷紗を付ける

- i. 背側の上下に飾りの花布(はなぎれ)を付けます
- ii. 花布の上から背全体に寒冷紗(かんれいしゃ)を貼り、背の補強をします
- iii. 表、裏の背に近い部分(寒冷紗の脇)は強い両面テープを付けて、表紙が外れないように、補強をします。
- iv. 表紙の素材によっては、強く糊付けするように、小口側にも両面テープで補強をします。

最期に表紙を付けて、完成です。